

行き詰まり症候群

7：必然性を越えたヴィジョン

アンディ美湖

(訳：美湖純子)

Copyright 2001 Andy Meeko

私が小さい時、母が誰か特別な人の古い黒の縁取りめがねを家にもってきました。そのレンズはコカコーラの瓶の底ほど厚い物でした。そのめがねで見ることができるなんて信じられないほどでした。しかしそれは、美しい心をもった日本の宣教師、アイルランド人で Irene Webster Smith という名の人のものでした。日本の殆どのクリスチャンリーダーは、多くのミッション団体の本部があり、何千というイベントが行われる御茶ノ水クリスチャンセンター(OCC)を訪れますが、そこは以前は彼女の家であり、ヴィジョンをもって、不思議な方法で取得されたのでした。Irene は 6 千円しか持っていませんでしたが、700 万円以上で売りに出される土地を奇跡的に購入したのです。

新しい OSCC(今の OCC)ビルの拡張にもなって Irene の家が壊される前に、母はそのめがねを廃品から受け取ったのでした。そのめがねは私にとって、「Irene は視力は殆どなかったけれど、霊の目ではっきりと見ていた」という記念になりました。Helen Keller が盲目について聞かれた時の言葉を思い出します。彼女は、「盲目以上に恐ろしいことがあります。それはヴィジョンのない視力です。」と言いました。

人々は私の父をヴィジョンの人として記憶しています。父は「遠くを見る目」を持っていたと言われます。父は将来を見て、全てのことをそれに向けていくのです。当時はヴィジョンがあまり語られない時代でした。しかし今日、ヴィジョンのアイデアは広まっていますが、しばしば誤解されています。時々私達は、ヴィジョンをただの計画やプログラム、または刺激にさえ間違っているとらえてしましますが、そういうものではありません。もし伝統が過去への橋であるなら、ヴィジョンは未来への橋でしょう。伝統は連続性を保証しますが、ヴィジョンは現実を創り出します。

ヴィジョンの人は困難に遭ったり(誤解されたり)しますが、いつも目に閃きがあります。なぜなら彼らの一部はすでに未来に属し、勝利に踊るのです。ヴィジョンの人は必然的な未来を知ると同時に、もう一つの別の未来を見るのです。Oswald Sanders のヴィジョンの名定義は、「ヴィジョンは先見と見識の両方を兼ね備える」です。先見によって未来を見、見識によって未来を置き換えし直すのです。ヴィジョンの人は必然的な現実遭遇し、新しい現実つまり神の現実を創ります。

世の中で、シナリオ作成と呼ばれる魅力的な慣行があります。シナリオ作成では、まず、組織が現在の傾向の根源を 3 - 5 年前から観察します。そして自問します。「現在分かっていることで、あの時何を見ることが出来たらよかったか」と。この観点からみて、彼らは現在そして将来の傾向のリストを作るのです。これらの傾向は自然と幾つかのかたまりに分かれ、これらの傾向のかたまりが将来のストーリーを編みこむのです。これらのス

トリー又シナリオによって、組織はそれに備え、未来を創り、ゲームを勝ち取るのです。

聖書ではこのようなことがあるでしょうか？ ないかも知れません。しかし、クリスチャンにとってシナリオ作成は神様が導かれる予言を瞑想することにとえることができるでしょう。シナリオ作成のおおきな実は神が私達を通して未来を導かれると期待することです。このことに焦点を当てる教会は行き詰まりの壁を打ち破るのです。

では、日本の 5 年後はどうなるでしょう。霊的風潮はどうなるでしょう。どんなチャンスやチャレンジがあるでしょう。私達はそれにどのように備えたらよいでしょう。それをどう変えたらよいでしょう。4つのシナリオ、未来に起こりうるかもしれないと私が考えているシナリオを一緒に見てください。これらは今の日本と随分違った様子を現わし、大きな枝分かれとなっています。

シナリオ 1 ; 関係を求める

コンピューターと人との結びつきが長いこと密接につながって、人々の人生に空虚さをもたらします。コンピューターはとても便利でコミュニケーションの方法もたくさん提供するけれど、生活のシンプルな良い面を奪い取ってしまいます。現実の世界につながることに非常な渇きが生まれます。人々は自分自身や他の人と、また自然とのつながりを切に求めます。多くの人々はフリーセックスによって絆を求めますが、他の多くの人々はさらに深い道徳的な基準で性を求めます。多くの会社や企業はこの関係の求めに応えるため投資するようになります。より良い家族・友情関係を築くのをたすける組織が繁栄します。

シナリオ 2 ; 新しい自己

個人に焦点を当てることが著しく広がります。出来上がった型やパターンに合わせることはつまらないことと考えられ抑えられます。教育は、個人のユニークな能力を大切にしよう大きく変わります。企業は、学問的な優秀さではなく能力のある人を求めます。人々は自分の可能性を伸ばすことを求めます。自己発見が流行し、感情面に敏感になり、回復の道を探します。人々は感情面の痛みに気づいて圧倒され、又、家族構成の崩壊がますます広がります。今までになく自己理解を追求し、社会的、霊的に成長します。

シナリオ 3 ; アイデンティティの探求

日本はアイデンティティの危機に直面します。伝統的な価値観が揺らぎ、国際結婚が増え、偉大な職務もなく(例えば戦争や経済戦争など)、日本は自己に直面しなければなりません。「日本人魂」とは何なのか、日本人とは何を意味するのかということを探求します。というのは「純粋な大和民族」は劇的に変わってきたからです。アイデンティティや意義を重視することで、過去の空しい中毒症状が急変します。ブランドに執着することはもはや軽蔑され、消費主義の強制力は揺らぎます。このアイデンティティ危機において、日本はついに、戦後苦い関係が続いた近隣のアジア諸国との連帯を求めます。謙遜が国の成熟のしるしとなります。又昔の日本のシンプルな質の良さに立ち返ります。神話の影響力が増し、自然

との結びつきが開花します。

シナリオ 4 ; 靈的津波

日本はついに砕かれて、靈的覚醒が起こります。しかしこれは、直接的なクリスチャンの靈的覚醒ではなく、伝統的な宗教もごちゃ混ぜになったものです。人々は神との出会いを求めて靈的なことに惹きつけられるのです。人々は感情的にも靈的にも飢え渴きます。彼らは深く、内面の回復そして神的な感覚を求めています。不思議にも新興宗教は以前ほど信頼されず、神道や仏教、ヒンズー教、特にキリスト教などの伝統的な信仰に人々が集まります。多くの人々を惹きつけるキリスト教の 2 つの宗派は神秘的に導かれたカトリックと、超自然的に方向づけられたペンテコステです。実際のどの宗教においても、人々を惹きつけるのはこの神秘的な要素なのです。この要素をもってたとえ意外な信仰、例えばアジアの部族宗教や西洋の異教であっても日本において足場を固めるのです。伝統的な福音主義は衰退し、多数の会員を失います。

4 つのシナリオにおける大変動。私達は準備が出来ているでしょうか？ 私達は必然的な未来を再創造する者でしょうか？ 疑いもなく、現在精力的に未来を創造している人々は、私達と全く違った世界観をもっています。すなわち、哲学者、小説家、そしてマスコミです。ある人は、「でも私達クリスチャンは少数派です。」と言いますが、そんなことは関係ありません。歴史は大概ひとりの人の精神によって変化をもたらされるのです。

Leonard Sweet の言葉に「現在はミニストリーの最善の時である。同時に、現在はミニストリーの最悪の時である。」とあります。機会も危険も予知しない人は災いです。見識なくして行動する人は災いです。おお主よ、決して私達が サムエル 3 ; 1 のように言いませんように。『そのころ、主のことばはまれにしかなく、幻も示されなかった。』
ダバール(davar)そしてロゴス(logos)の力強い激流が押し寄せ、神の現実を創造させたまえ。